

# 高齢者虐待 24%増

12/26  
5月の

昨年度、施設職員から 過去最多739件

## 介護施設の職員らによる

高齢者への虐待は2021年度は739件（前年度比24・2%増）で、06年度の調査以来、過去最多だったことがわかった。厚生労働省が全国の自治体から報告を集計し、発表した。

虐待を受けたと確認された高齢者は計1366人。2人亡くなつた。相談・通報も2390件（同14・0%増）と過去最多で、同省は積極的に相談・通報を促していることでも虐待件数が増えた一因とみる。

## 虐待の内容（複数回答）

は、最も多かつたのが「身体的虐待」で51・5%。「心理的虐待」が38・1%、「介護等放棄」が23・9%を占めた。虐待を受けた人のうち、身体拘束されたのは332人だった。虐待が起きた要因をみると「教育・知識・介護技術

などに関する問題」が56・2%、「職員のストレスや感情コントロールの問題」が22・9%、「虐待を助長する組織風土など」が21・5%と続いた。

## 施設別では、特別養護老人ホームが228件（30・9%）で最多。次いで

有料老人ホームが218件（29・5%）だった。厚労省は21年度から虐待防止に関する研修の定期的な実施などを施設運営の基準に加え、24年度からは義務化されることになつている。

一方、家族らによる虐待は1万6426件。前年度比4・9%減と2年ぶりに減少した。ただ、「亡くなつたのは37人で、前年度より12人増えた。息子からの虐待が38・9%で、夫22・8%、娘19・0%と続いた。

（石川友憲）